



ハロー！ 神奈川教区

2006.12.24 発行

2006, No. 4

教区中高生会に参加して

神奈川教区 教区長 上中栄

主の平和をお祈り申し上げます。

11月19日、初めての試みでしたが、横浜いずみ教会で教区中高生会を開催しました。

天候も悪く、中高生の参加者は9名と少なかったのですが、周りの大人の温かい(?)眼差しの中で、良い集まりをもつことができました。山本出牧師(白鷹教会、教団青年宣教主事)の歌とメッセージ、川井秀行兄(辻堂教会)のリードによるディスカッションなど、充実したものでした。

なかでも、夏の韓国研修会に参加した中高生二人の証しは、この時節、感慨深いものでした。ぜひ皆さんとも分かち合いたいと思い、今号では特別にその証しを載せることにしました。教区聖会・宣教大会でも、彼らの声が聞ける予定です。

さらに中高生の交わりの輪が広がることを願っています。今後ともお祈りください。

クリスマスの祝福を祈ります。

教区行事報告

「韓国中高生リーダー研修会参加報告」

井土ヶ谷教会 舛田和生

自分は8月の2日から9日まで韓国ソウルのソウル神学大学で行われた、中高生リーダー研修会に参加してきました。韓国に着いた時は期待と不安で胸が一杯でした。空港からバスに乗り込みソウル市内へと移動する途中はほとんどの人が仲間内で話しているような感じでした。初日はソウル神学大学を見学し、ホテルに行き自己紹介をして終わると言うような感じでした。

二日目からは韓国の中高生と共にミッションキャンプに参加しました。キャンプではグループごとに別れて行動する場面がありました。予定では日本人は日本人で1つのグループを作ると言う話でしたが、予定が変更され12~3以上あったグループに1人か2人ずつくらいで放り込まれました。言葉も通じないまま慌てていましたが、各グループに1人くらいは英語が得意な人や日本語がわかる人がいて自分たちをサポートしてくれました。そのおかげでグループ行動も楽しく過ごすことができました。集会では礼拝に対する姿勢や、礼拝の意味等を再確認するよい場となりました。楽しいキャンプの時間はあっという間に終わりました。

キャンプが終わった次の日からは、観光のような感じで色々な場所を見て回りました。何人かの韓国の中高生メンバーも残って自分たちと一緒に行動していました。

最終日前日に回った所に、「西大門刑務所 歴史館」という場所がありました。そこで自分たちは学校では習わない、日本で知ってる人は少ないであろうと思われる悲惨な事件を知りました。それは3・1事件と言う事件でした。日本がまだ大日本帝国時代、韓国を占領していた時に起きた独立運動を弾圧するために韓国人を収容し、拷問をしていた場所でした。水攻め

や電気ショック、爪をはがすなどの目を逸らしたくなるような光景を目の当たりにし、自分たちは胸が痛みました。本当に使われていた道具や牢獄。再現された人形。そのような物が置かれている展示場の一角に、ハンゲルで色々書いてある紙が貼ってありました。読めずとも何が書いてあるかわかる様な気がしました。そこにたった1つ日本語で書かれていた一言・・・「日本人よ、これが私たちの歴史だ。忘れるな。」その言葉を見た時、自分は涙が止まりませんでした。約一週間一緒に笑ったり、賛美したり、祈ったりした、とても優しく接してくれた仲間の国には、自分たちを恨んでいてもおかしくは無い、冷たくあしらわれても何も言えないような歴史がありました。外に出て泣き崩れていた時も、「Just history(ただの歴史だよ)」と言って慰めてくれました。自分は「何故こんなに優しくしてくれるのだろうか?」と思っていました。そこで自分は許す事の大切さを知りました。

このような体験をさせてくれた神様に感謝です。

「韓国リーダー研修会感想」

辻堂教会 勝俣乃祐

自分は、8月2日から9日まで、リーダー研修会ということで、22名の方と一緒に、韓国へ行って来ました。

まず韓国に着いて、1番はじめに驚いた事は、韓国の教会は、十字架に赤い光を照らして、それがとてもたくさんあり、教会と他の教会の距離がとても短くて驚きました。

次に驚いた事は、3日間韓国人と一緒にミッションキャンプに参加した時、日本のキャンプと違って、各教会から集まるのではなく、各中学校や高校というとても広い範囲でした。あまりの範囲の広さに驚きました。

3つ目に驚いたことは、ミッションキャンプで韓国人15人位のグループをいくつか作り、その中に自分たち日本人が、1グループに1人か2人ずつ入って行動をするということになりました。自分は日本語しか喋れないのに、どうやって彼らと打ち解けてゆけばいいのだろうか、という不安が出てきて、あまりにもその不安が強くて泣きそうになりました。しかし、韓国人は、一生懸命慣れない言葉を使って説明をしてくれました。言っている意味は全くわかりませんが、1日でこんなに親しくなったことに驚きました。また、韓国人の賛美は日本と違い、人の目を気にしないで、飛んだり跳ねたり叫んだり、とても神様を愛する気持ちが外に現れていたのに驚きました。

そして、最後に驚いた事は、韓国人の愛でした。それは4日目に三・一運動殉国記念館という所に行ってからわかりました。その視聴覚教育室という所でビデオを見ました。このビデオを見る前までは、ここがどういう所なのかわかりませんでした。しかしそれを見た後は本当につらかったです。そこで教えてもらった内容は、過去に日本人が韓国人に多くの被害を与えていて、韓国人を教会の中に閉じこめて焼き殺したり、多くの拷問をしたりという最低な事を日本人がしていました。なぜ、どんな目的でこんな事をしたのだろうかという疑問に思い、涙が止まりませんでした。なのに、韓国のみんなは、ミッションキャンプであんなに親しくしてくれて、とても自分は情けないと思いました。その後、こういう事をしてしまって本当に申し訳ないと謝っても、「過去を気にするな」とか、「君たちがやった事じゃない」と慰めてくれました。その時、彼らの許す心がとても広い事に驚きました。こんな信仰を持った人たちが、世界に広がるようになったらいいなと思いました。

教区行事のご案内

教区聖会・宣教大会のご案内

教区聖会委員会

来る2007年1月8日(月・祝日)、横浜教会にて教区聖会・宣教大会を開催いたします。

聖会 : 10時30分～12時

講師: 小林恒子師

宣教大会 : 13時～15時

講師: 郷屋一二三師

聖会では新成人のお祝いと特別賛美として合同聖歌隊によるハレルヤコーラス、宣教大会では修養生の献身の証と、本号でもお証を紹介させていただいた韓国中高生リーダー研修会の参加報告が予定されております。

期待してご参加いただけますよう、お願いいたします。

役員・信徒研修会のご案内

教区役員会

教区一斉講壇交換の行われる1月28日(日)の午後、辻堂教会にて役員・信徒研修会を開催いたします。

二回目となるこの研修会では、教団でも話題になっている、牧師と信徒の協力について考えたいと願っています。牧師の説教・牧会をめぐる対話や、信仰の継承など、具体的な事柄を取り上げる予定です。詳細は追って連絡します。

その他の各教区行事・会合のご案内

教区総務部

神奈川教区では、教区主催の様々な行事・会合が予定されております。新年以降の教区行事予定をご案内させていただきますので、ご予約に入れていただけますと幸いです。

日程	内容	会場	主催部会
2007年 1/7(日)	連合青年会例会	横浜教会	連合青年会
1/8(月)	教区新年聖会・宣教大会	横浜教会	聖会実行委員会
1/22(月)	教区運営委員会	元住吉教会	総務部
1/23(火)	連合婦人会総会	鵜沼教会	連合婦人会
1/28(日)	一斉講壇交換	参加各教会	牧師会
1/28(日)	教区役員・信徒研修会	辻堂教会	教区役員会
2/26(月)	教区臨時総会	横浜教会	教区長

編集後記

今年度第4号の教区報を皆様にお届けできますことを感謝します。今回は、11月の教区中高生会でお証をしていたいただいた韓国訪問ツアーの報告を中心に、紙面を増やしてお届けいたしました。中高生たちが生で感じてきた体験を、教区の皆様と共に分かち合えますと幸いに存じます。次号は来年2月頃に発行する予定です。

今後とも教区の諸活動に祈りと共にご参加・ご協力いただけますよう、お願いいたします。

教区総務部長 伊藤聖治(茅ヶ崎教会)